

ジェットスター・ジャパン、初のチャーター便を高知－宮崎線で運航

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、本日、初のチャーター便を運航しました。初乗り入れとなる高知龍馬空港から宮崎ブーゲンビリア空港まで運航し、高知市春野町で開催された「2018 プロ野球プレシーズンマッチ」に出場した千葉ロッテマリーンズおよび埼玉西武ライオンズの選手および球団関係者にご利用いただきました。

本チャーター便(GK1001 便)は、高知龍馬空港を午前 10:57 に出発し宮崎ブーゲンビリア空港に午前 11:50 に到着しました。

ジェットスター・ジャパンは運航開始以来、レジャーや帰省などのご利用に加え、昨年 2 月には、ビジネス旅客向けの新運賃オプションセット「フレックス Biz」の販売を開始するなど、新たな LCC の活用を提案してきました。今回、高知と宮崎を結ぶ初のチャーター便運航をきっかけとし、今後、現在ジェットスターが就航していない地域のお客様に対しても、ジェットスターのサービスをご活用できるよう、チャーター事業を新たな取り組みとして進めていきます。

ジェットスター・ジャパンはこれまで、定期便の就航により観光促進や地域振興への貢献を強化してきましたが、定期便が就航していない地域においても、LCC によるチャーター便という新しい選択肢を提供し、地域貢献の一翼を担うことを目指してまいります。



初乗り入れとなる高知龍馬空港で出発準備中の GK1001 便

日本の LCC として国内線最大シェアを擁するジェットスター・ジャパン(注)は、今後も東京・大阪・名古屋の日本 3 大都市をハブとして路線網やサービスのさらなる充実を図り、いつでも低運賃で快適な空の旅を提供してまいります。

(注) 出典: 国土交通省「特定本邦航空運送事業者に係る情報(2018年1月発表)
国内線マーケットシェア: 51%(RPK ベース: 平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月)

チャーター便運詳細

運航日	便名	定刻	使用機材
2018年2月26日	GK1001 便	高知 11:00 発 宮崎 11:50 着	エアバス A320 型機

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線を就航し、2015年2月からは国際線の運航も開始しました。現在、国内12都市・17路線、国際4都市・9路線を21機のエアバスA320型機(180席)で1日約100便を運航しており、国内線就航から2,300万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。 <http://www.jetstar.com>